

NPO やすらぎの郷 いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！

RUN 伴



Orange ring



認知症になっても安心して暮らせる地域づくり

- RUN伴ふくしま2021 -

9月は世界アルツハイマー月間でした。「認知症の人と一緒に何か目標を達成したい」そうした思いからRUN伴は始まっています。認知症の人もそうでない人もみんなでタスキをつなぎゴールを目指すイベントです。コロナ禍の中イベントは行われませんが、当法人でもTシャツを着て啓発に努めました。



みんなの広場



楽しい外しごと

千貫森の近くに住んでいます。家から見える桜の木は自分で手入れをしていました。令和元年の夏、自宅そばの横断歩道を渡っている時に事故に遭い生活は一変。治療の後リハビリをして家に帰って来れたのは、翌年の春でした。

一人暮らしなので子どもたちに協力してもらって、デイサービスに出かけたり、ヘルパーさんにも手伝ってもらいながら暮らしています。

家に居る時は季節ごとに咲く花たちに囲まれその手入れをしたり、夏野菜作りも楽しくて、外に出ているほうが多いですね。子どもたちからは頑張りすぎて転ばないようにと心配されるので、気をつけています。

寒さが厳しくなると暖かくなるまでの期間を施設で過ごすようにしています。

いろんな人たちに巡り会え、その出会いも楽しみながら暮らしていきたいと思います。

<利用者 中村ミイ子>



ちょっと一休みベンチ

80歳を超えてから「お散歩デビュー」した夫と娘と3人で歩いていて気が付いたことは、ベンチが見つからないことでした。支所をお願いに行きましたが、市道への設置は難しいとのことでした。市長宛ての手紙がきっかけで、置く場所が見つかりました。支所が2台の再利用のベンチを設置してくださいましたが、これだけでは全く足りません。財源がないとの説明に、過ごし易い地域を造るには行動を起こすしかない、と近所の石屋さんに3台のベンチを発注しました。支所立ち合いの下、大久保椿沢、4区集会所近く等に設置させていただきました。

人口減少、団塊の世代がまもなく後期高齢者の仲間入りの飯野町です。外に出て歩き、ベンチで楽しくおしゃべりする。寝たきりにならず出来るだけ元気な年寄りではありませんか？この度の事がきっかけで各地域に独自のベンチが増え、高齢者に優しい町になることを夢みております。

<正会員 高野 田鶴子>



有償ボランティアの活動報告と募集



1. 有償ボランティアについて

当NPO法人の有償ボランティア活動は、定款第5条に定められている当法人の目的を達成するための事業として、第6号に定める「支援を必要とする方への支援事業」に基づくものです。

「支援を必要とする方」とは、高齢者(満60歳を基準)世帯と障害者世帯で、高齢者以外の方と同居していない方を対象としています。

2. 支援内容について

(1) 現在提供している支援内容

- ①清掃、調理、買物
- ②除草、草刈り、剪定(簡単な)、
- ③墓地清掃、雪かき、障子貼り、
- ④病院内介助、外出支援

(2) 令和2年度の支援実績

①清掃他	45件	36.0%
②草刈り他	55件	44.0%
③墓地清掃他	19件	15.2%
④病院内介助他	6件	4.8%
計	125件	

平成30年度102件、令和元年度は103件であり、増加しています。高齢化社会となり、全般的に増加傾向にあります。

3. 有償ボランティアの状況

登録されている有償ボランティアは以下の通りですが、利用者の高齢化とともに、ボランティアの高齢化も進んでいます。

R3.11.1現在

	外部	内部	計
男性	9	2	11人
女性	4	5	9人
計	13	7	20人

注 内部は、NPO法人の役員又は職員

4. 有償ボランティアの募集

上記の様に、実質的に活動できるボランティアは20名です。NPO法人の役職員は、介護保険の利用者から依頼のあった保険外の清掃、身体介護等の支援が中心となります。

特に不足しているのは、炊事が出来る方、草むしりができる方と、刈払い機を使用した草刈りのできる方です。

その他にも、通院付き添いや院内介助のできる方も求めています。

自薦・他薦を問いませんので、関心のある方は、以下までご連絡頂けたら幸いです。

事務所電話 024-563-4804
携帯電話(齋藤) 090-4043-8063

できることで

たすけあい



五大院縁日でまちづくり

福島市との合併協議が始められた頃の事でした。飯野町の特徴をどのように残せるのかと言うのです。

そんな話になった時、飯野町の特徴ってあるのか。と語る人がありました。しばらく静かになり語る人がありませんでしたが、「飯野には、行政の指導で活動するのではなくて、住民自らが提案し合ってグループを造って地域を楽しくする活動を行う人々が居るよね。」と言われました。確かに、各地区に自分たちの合意で創られて活動しているグループがある。そんな話になったときに、「私たちは、まちづくり委員会で学んだ事をどのように形にするか」となり、合併後は自力で町づくり行っていこうとまとまりました。



そんな時に「飯野町の文化財を再度生かせる事が出来ないか」との話を実体化しようとなり、いろいろの中から実現可能と思われたのが「五大院の活用」でした。町の真ん中にある事。駐車場もある。はたして、この寺を管理する住職に賛成して頂けるかが問題でしたが、住職は快く賛同されて、自らも仲間の住職を連れて参加して下さいました。あれから丁度20年目、今年の11月の縁日は240回目の縁日です。

五大院縁日を開く会
世話人代表 古関 善一郎



会員・賛助会員
ボランティア募集



NPO やすらぎの郷いの
福島市飯野町字前川16
TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

一口一言

原稿を書いている今日は十三夜。この時期は、栗や豆が収穫できる時期であり、旬のものをお供えしてお月見をしたことから「豆名月」「栗名月」とも呼ばれています。美しい月をめでたら、枝豆や栗ご飯食べたくなりました。

(K)